

地域を学び 地域で活かす

県内高等教育機関と連携して、これからの地域づくりについて考える講座を開催します。

どなたでもご参加いただけます。

鳥取大学

令和2年 10.10 (土)
10:30~12:00

【会場】鳥取県立図書館 大研修室
(鳥取市尚徳町101)

【ライブ配信会場】

米子市立図書館(米子市中町8)
倉吉市立図書館(倉吉市駄経寺町187-1)
南部町立法勝寺図書館(西伯郡南部町法勝寺342)
大山町立図書館(西伯郡大山町赤坂766-1)
琴浦町図書館(東伯郡琴浦町徳万266-5)
加藤文太郎記念図書館(兵庫県美方郡新温泉町浜坂842-2)
あわくら図書館(岡山県英田郡西栗倉村影石33-1)



鳥取の映画文化について

【講師】 ささき ゆうすけ
佐々木 友輔 さん

(鳥取大学 地域学部 地域学科 国際地域文化コース 講師)

鳥取県内には映画館が東中西部にそれぞれ一館ずつ、合計三館しかありません。けれども、この土地で映画を愛し、自らの手で上映機会を作り出す活動を続けてきた方々の尽力によって、実は非常に豊かな映画文化が根づいているのではないかと考えて、私は今ドキュメンタリー映画『映画愛の現在』三部作の制作を進めています。自主上映団体や監督など、鳥取の「映画人」たちと出会い、学んだことについてお話しします。



令和3年 1.23 (土)
10:30~12:00

【会場】鳥取県立図書館 大研修室
(鳥取市尚徳町101)

【ライブ配信会場】

米子市立図書館(米子市中町8)
倉吉市立図書館(倉吉市駄経寺町187-1)
南部町立法勝寺図書館(西伯郡南部町法勝寺342)
大山町立図書館(西伯郡大山町赤坂766-1)
琴浦町図書館(東伯郡琴浦町徳万266-5)
加藤文太郎記念図書館(兵庫県美方郡新温泉町浜坂842-2)
あわくら図書館(岡山県英田郡西栗倉村影石33-1)



居場所に居るといふこと

【講師】 おおた ただし
大谷 直史 さん

(鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構 教員養成センター 准教授)

ただそこに居るといふことが、どうしてそんなに苦痛になってしまったのでしょうか。まずは「居場所」や「サードプレイス」が求められる社会的背景を明らかにしましょう。そこにはある種の承認不足が関わっているはず。役に立たなくとも、何かができなくとも大丈夫という承認です。どうすればただ居ることが、できれば楽しく居ることができるのか、いくつかの実践事例をもとに一緒に考えていきたいと思います。



公立鳥取環境大学

令和2年 6.20 (土)
10:30~12:00

【会場】鳥取県立図書館 大研修室
(鳥取市尚徳町101)

【ライブ配信会場】

倉吉交流プラザ第1研修室(倉吉市駄経寺町187-1)
公立鳥取環境大学西部サテライトキャンパス
(米子市角盤町1丁目55-2 中海テレビ放送センタービル内)



What is Marketing!? 身の回りにあふれる売れる仕掛け・売る仕掛け

【講師】 たけうち ゆか
竹内 由佳 さん

(公立鳥取環境大学 経営学部 講師)

「マーケティングって何!?!」と、50年ほど前の日本人はみんな思ったそうです。ところが、令和も2年目に突入したこの時代、このマーケティングがないと企業はやっていけないと言われていきます。マーケティングは身の回りに溢れており、私たちはその効果で、引き寄せられるようにモノやサービスを買っているのです。その仕掛けを知りたくありませんか?身近な出来事から、企業の売れる仕掛け・売る仕掛けであるマーケティングに触れてみましょう。



令和2年 10.10 (土)
10:30~12:00

【会場】公立鳥取環境大学
西部サテライトキャンパス
(米子市角盤町1丁目55-2中海テレビ放送センタービル内)



未来に残そう!! 魚の豊かな鳥取の海

【講師】 おおた たろう
太田 太郎 さん (公立鳥取環境大学 環境学部 准教授)

山海の「自然資本」はコンパクトな鳥取県の地域経済の基盤として極めて重要な位置を占めています。本講座の主題でもある水産資源については、鳥取県沖合の表層に存在する対馬暖流系水塊と底層の日本海固有水が存在が多様な生物の存在を許容し、これらを獲得多様な漁業を生み出してきました。しかし、鳥取県の水産業については、厳しい現状にあると言わざるを得ません。本講座では水産資源の現状について見詰め直し、豊かな水産資源の再生に向けた課題について考えます。

鳥取看護大学・鳥取短期大学

延期と
なりました。



深読み日本古典文学

【講師】 おかの ゆきお
岡野 幸夫 さん (鳥取短期大学 国際文化交流学科 教授)

古典文学作品はどれも、長い時の試練を生き抜いた「力」のようなものを持っており、それを読むことは人生の大きな楽しみです。そしてなんととっても古典は原文を読むに限りません。それには古語辞典が欠かせませんが、辞書の説明を公式的に作品の表現に当てはめても、その作品の面白さはなかなか分かりません。古語1つ1つが持つニュアンス、作者がその言葉に込めた思い、表現の裏にあるものなどにこだわりながら、ゆっくりと古典を原文で味わい、脳を活性化させ、日々の生活をいきいきとした潤いのあるものにしてみませんか?



鳥取県立生涯学習センター中研修室2(鳥取市扇町21番地)
公立鳥取環境大学西部サテライトキャンパス
(米子市角盤町1丁目55-2 中海テレビ放送センタービル内)

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期となる場合があります。

日程、内容等、今後変更になる場合があります。変更の際は、ホームページ等でお知らせします。

**延期と
なりました。**



ロコモ予防で健康長寿



【講師】 のつ **野津 あきこ** さん (鳥取短期大学 生活学科 食物栄養専攻 教授)
 はやかわ **早川 大輔** さん (鳥取看護大学 看護学部 看護学科 教授)

最近話題のロコモについての予防や対策について考えてみます。運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモティブシンドローム (略称: ロコモ、和名: 運動器症候群)」といいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。日本整形外科学会は人類が経験したことのない超高齢社会・日本の未来を見据え、このロコモという概念を提唱しました。本講座では解剖生理学分野からロコモの仕組みや体の筋肉・骨・関節のはなし、栄養学分野からロコモを予防する食事などについて学びます。

【ライブ配信会場】

鳥取県立生涯学習センターパソコン研修室
 (鳥取市扇町21番地)
 公立鳥取環境大学西部サテライトキャンパス
 (米子市角盤町1丁目55-2 中海テレビ放送センタービル内)

**延期と
なりました。**



いきいき生きる 一動いて、つかって、笑顔で元気にー

【講師】 たなか **田中 響** さん (鳥取看護大学 看護学部 看護学科 教授)

毎日、健康でいきいきと生活するためにできることを一緒に考えませんか? 動くこと=活動すること、つかること=温泉につかること、笑顔で過ごすことからできることがあります。鳥取県は、日常的にウォーキングすることで健康になることを目指したウォーキング立県であるとともに、多くの温泉を有し、特に倉吉市には開湯1300年の関金温泉があります。ここで暮らすことで健康になる生活を今日から始めてみませんか。

**延期と
なりました。**



口からはじまる健康 ～オーラルフレイルの予防に向けて～

【講師】 ほそだ **細田 武伸** さん (鳥取看護大学 看護学部 看護学科 准教授)

人生の最後まで、自分の身の周りのことを自分でやり、健康寿命を延ばすためには、食を楽しむ、自分の口で噛んで食べることが重要になります。今回のお話では、「しっかり噛んでしっかり食べ、しっかり動く、そして社会性を保つ」ことの重要性を再認識して頂いた上で、オーラルフレイルの予防に焦点を当て、オーラルフレイルのスクリーニング方法、具体的な症状とその予防方法について、改めて皆さんに確認して頂き、実行して頂く機会にしたいと考えています。

**延期と
なりました。**



子ども食堂ってどんなところ?

【講師】 みなみ **南 潮** さん (鳥取短期大学 幼児教育保育学科 准教授)

最近、新聞等で見かけることが多くなった子ども食堂。興味はあるけど、実際どんなところかな? と思っている方は多いのではないのでしょうか。2017年末から、私は学生達と一緒に県内の多くの子ども食堂を訪問し、ボランティアをしながらお話を聞く活動をしてきました。その中で多くの素晴らしい出会いがあり、様々な思い、様々なスタイルで活動していらっしゃるご様子を知ることができました。また、本学でも学生がどのように貢献していけばいいか試行錯誤を重ねてきました。今回はそうした活動の報告をさせて頂ければと思っています。

米子工業高等専門学校

令和2年 11.15 (日)
 10:30~12:00

【会場】 米子市立図書館
 多目的研修室
 (米子市中町8)



物理学を使って鳥取県を観てみた話

【講師】 こばやし **小林 玉青** さん (米子工業高等専門学校 准教授)

少しお堅くて、日常生活に無関係なイメージがあるかもしれない「物理学」ですが、その考え方は実際、世の中の多方面にわたって有益です。そこで今回は身近な鳥取県の中で見つける「物理」の話を紹介します。砂丘 (東部)、三朝温泉 (中部)、皆生温泉 (西部) をそれぞれ物理学を使って見直すことで、鳥取県の魅力をこれまでと違った角度から引き出せればと思います。

▶️【講座の様子を講座開催地以外の地域 (東・中・西部単位) に設けた受信会場に配信するものです】

特別講座受講方法

- 当日、直接会場へお越しください。
- ただし、手話通訳、要約筆記、託児、車いす、介助などのご要望がある場合は、受講を希望される講演会の2週間前までに、講座を主催する右記の大学等へご連絡ください。
- すべて受講無料ですが、教材費等が別途必要な場合があります。

鳥取大学 地域価値創造研究教育機構	〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101 電話: 0857-31-6777 FAX: 0857-31-6708 E-mail: koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp
公立鳥取環境大学 研究交流推進課	〒689-1111 鳥取市若葉台北1丁目1番1号 電話: 0857-38-6704 FAX: 0857-32-9053 E-mail: event@kankyo-u.ac.jp
鳥取看護大学・鳥取短期大学 グローバルセンター	〒682-8555 倉吉市福庭854 電話: 0858-27-0107 FAX: 0858-26-9138 E-mail: glocal@ns.cygnus.ac.jp
米子工業高等専門学校 図書館	〒683-8502 米子市彦町4448 電話: 0859-24-5028 FAX: 0859-24-5269 E-mail: gakujo@yonago-k.ac.jp

あなたの
「学び」を
応援します!!

≪ 学習の成果を発表してみましよう! ≫

作品展示・活動紹介をしたい方

出展者募集中!

生涯学習展示コーナー

出展
無料

県内の公民館、学校、社会教育団体、生涯学習グループや生涯学習に取り組んでいる方に発表の場を用意しています。ご利用お待ちしております。



世界のフクロウ

ホール等の天井工事のため、
利用は9月末までになります。

- 利用期間は14日以内です。
- パネル・机・白布・ショーケース等は用意します。(数量限定)
- 飾り付けは、利用者でお願いします。
- 作品の販売はできません。
- 作品の毀損・盗難等があった場合の損害賠償はできません。

展示のようす

音楽やダンスなどを発表したい方

出演者募集中!

ランチタイムコンサート

出演無料
入場無料

演奏を聞いてもらいたい! ダンスなどを見てもらいたい! パフォーマンスを披露したい! と思っている方は、ご相談ください。

お昼のひとつときに、一階ロビーに発表の場を用意しています。



緑ヶ丘グリーンコーラス

ホール等の天井工事のため、
利用は9月末までになります。

- 場 所 1階ロビーの指定場所
- 発 表 日 相談により決定
- 発表時間 12:00~13:00 (リハーサル時間含む)
- 申込期間 発表希望月の1ヶ月前から10日前まで受付
- 申込方法 窓口または電話などで事前にご相談ください。その後、申込用紙をご提出ください。発表の可否は、他の催物状況及び申込内容を検討のうえ連絡します。

発表のようす

定員に達したため
募集を締め切りました

令和2年6月14日(日)開催予定の『令和2年度ふるさと再発見生涯学習講座(歴史) 歴史的建造物をとおして、地域の魅力を探る!』は、申込が定員に達したため、受付を締め切りました。たくさんのお申込み、ありがとうございました。

ふれあい文庫を
ご利用ください!

広く県民の皆さまから寄贈いただいた文庫本等を1階ロビーの「ふれあい文庫」コーナーに置いています。

- 貸出期間の制限や、台帳への記入等の手続きは必要ないため、気軽にご利用いただけます。
- 借りたい本を書棚から取り、読み終わったら、返却棚に戻してください。
- 保存状態の良い文庫本がありましたら、寄贈にご協力ください。

〈家庭教育支援講座〉

出前講座

魔法の板「カプラ」で遊ぼう!

木製ブロック「カプラ」をつかって、親子で創作活動を行い、集中力・創造力・協調性を養いながら親子のコミュニケーションを深めましょう!

〈講師〉カプラインストラクター ひのさだゆき 日野定幸氏
 〈募集团体数〉東部・中部・西部 各1団体
 〈申込期間〉令和2年4月8日(水)～
 5月31日(日) 必着

※詳細は、ホームページに掲載の募集要項をご覧くださいか、下記にお問い合わせください。

「カプラ」ってなに?

たった1種類の板からイメージしたものが何でもつくれる、フランス生まれの不思議な小さな木製の板。



※新型コロナウイルス感染拡大予防のために、催し等が中止となる場合がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

令和2年度 とっとり県民カレッジ講座 市町村連携

倉吉市教育委員会、西部地区社会教育担当者研究協議会と連携し開催します。

人×地域“つながる”をテーマに地域づくりに
ついて、楽しく学んでみませんか?

★ 地域をフィールドに活躍したいと思っている人
 ★ 地域でのイベントに若者の参加が少なくて困っている人
 ★ 県内の若者とつながりたいと思っている人
 きっと素敵なヒントが見つかるはず!

つながる最前線! ~地域と若者がまちを変える~

令和2年 7月18日(土)
倉吉市上灘公民館(倉吉市上灘町9-1)

5月中旬
募集開始

午前(10:30~12:00).....

● 講演会 講師: たけべ みき 竹部美樹さん

NPO 法人エル・コミュニティ 代表

演 題 まちを遊び場に! ~地域の担い手育成~

午後(13:00~15:00).....

● 実践発表

- ・ ふくい たかひこ 福井 隆彦さん(べっ! やしろ 前会長)
- ・ いのうえ かみこ 井上可奈子さん(南部町地域おこし協力隊 てま里担当)
- ・ もりもと めい モリモトメイさん(鳥取なにたべ! 編集長)

● 感想交流

講師・実践発表者を交え、会場の参加者みんなであつなろう!

地域を育む「サードプレイス」

令和2年 9月26日(土)
米子市文化ホール(米子市末広町293)

7月中旬
募集開始

午前(10:30~12:00).....

● 講演会 講師: いしい まさひろ 石井 正宏さん

NPO 法人パノラマ 代表理事

演 題 親でも先生でもない大人が開く高校内居場所カフェ

午後(13:00~15:00).....

● 実践発表

- ・ おおたに ただし 大谷 直史さん(鳥取大学教員養成センター 准教授)
- ・ しば ゆきこ 芝 由紀子さん(うんなんグローバルセンター 代表)
- ・ みずた みよ 水田 美代さん(皆生の居場所「ちいさいうち」管理人)

● 参加型パネルミッション

サードプレイス「みんなの居場所、私の居場所」

◇ 申込が必要です。内容等、今後変更になる場合があります。詳細については、今後ホームページ・チラシ等でお知らせします。
 ◇ この他、高等教育機関と連携して特別講座を実施します。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のために、催し等が中止となる場合がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

申込・問合せ先

鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館) 〒680-0846 鳥取市扇町21

TEL (0857) 21-2331 / FAX (0857) 21-2267 / URL <http://fureaikaikan.jp> / Eメール manabi@fureaikaikan.jp



このコーナーでは、県内の生涯学習に取り組むグループやサークルなど、皆さまからいただいた自慢話や地域活動、ボランティア活動、催物案内、仲間募集などに関するさまざまな「つぶやき」を掲載しています。

西郷エアロビクスサークル

私たちは、鳥取市立西郷地区公民館で、月2回活動しています。歩く事から体全体を使ってのエアロビクス、筋力アップにステップ台等も使用します。肩甲骨を動かし、ゆっくりと呼吸をすることで、腹筋も使います。

●活動日●

日時：月2回(第一・第三火曜日 19:30~20:30)

場所：西郷地区公民館 ホール

問合せ先：鳥取市立西郷地区公民館
TEL (0858)85-0445



ポルドブラのゆっくりな動作で体幹を鍛えます。
※ポルドブラとはフランス語で「手の運び・動き」という意味です。



言葉を置き換えたり、言葉の順番を変えるなど、工夫しながら、ろう者に伝わりやすい表現について学んでいます。

手話サークルゆり

聴者とろう者が一緒に手話を学んでいます。毎回その日の当番が活動を進行させます。

前半は一週間の出来事やニュースなどを手話で話し合い、後半は当番が用意したテキストを使って短文を手話で表す練習をします。

米子市身体障害者福祉協会主催の大会でボランティアとして活動をしたり、米子市ボランティア協議会主催の「ふれあいの里ミニぼらんていあ祭」では、ろう者と一緒に毎年喫茶コーナーの準備、運営をしています。

●活動日●

日時：毎週火曜日 10:00~12:00

場所：米子市福祉保健総合センター ふれあいの里

問合せ先：米子市社会福祉協議会/ボランティアセンター

TEL (0859)23-5455 FAX (0859)37-3855

このコーナーでつぶやいてみたいグループ、大募集!! お気軽に下記にお問合せください。

なお、掲載にあたっては、条件があります。ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

問合せ先 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館) TEL (0857) 21-2331

マナビィとマナベルウくん“へ〜ふ〜ん そうだったのか”コーナー

それに笹には抗菌作用もあるし、香りもいいからちまきには適しているんだよ。



ふ〜ん、そうだったのか〜。



そうだね。笹の葉なのは、ちまきの起源といわれる中国で、「お供えとして川に入れるちまきを竜にとられないように、苦手といわれていた笹の葉を巻いた」という説があるからかもね。



へえ〜、でも、ぼくが作るのは笹の葉だし、チガヤの葉は見たことが無いなあ。



それはね、もともとイネ科のチガヤの葉を使って巻いていて「ちがやまき」と呼んでいたものを「ちまき」と呼ぶようになったと言われているよ。



もう少しで端午の節句だね！ぼくは毎年この時期になると、おばあちゃんの家がちまきづくりを手伝いにい〜くよ〜！ところで、なんで「ちまき」というんだらう？



「ご意見」「ご感想をお寄せください」
『生涯学習とつとて』について鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)まで「ご意見」「ご感想をお寄せください」
※お便りは本誌で紹介させていただく場合があります。